

個人投資家向け会社説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2024.11.20

www.cosmobio.com



はじめに・・・

コスモ・バイオと聞いてどういうイメージを持ちますか？

バイオの研究して
いるんでしょ

コスモって、
石油の？

何の薬を開発して
いるのかな

ノーベル賞銘柄だよ

バイオなのに
配当している

全然聞いたことない
会社

バイオベンチャー

安定した良い会社

ライフサイエンス（生命科学） の
研究に使用する**試薬や機器**、または**サービス**を
提供する事業を行っています。

目的・理念

生命科学の進歩に資する

『ライフサイエンスに、研究を
「支える立場として」かかわりたい』

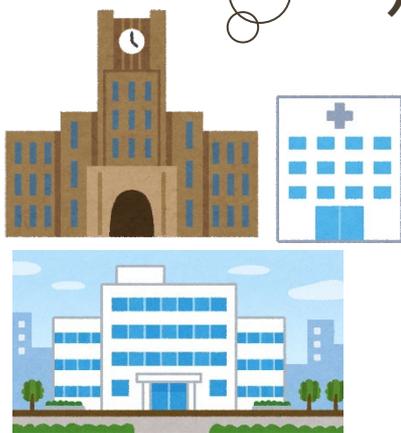
そんな人材がコスモ・バイオには集まっています。

コスモ・バイオの役割



研究の様子

よくイメージする
バイオの仕事をする人
ですが、
コスモ・バイオは
ちょっと違い・・・



大学、企業等の研究室

研究（実験）に
必要な研究用試
薬、機器・器材、
消耗品など

マイクロウェルプレート



チューブ



チューブ、
保温ブロック



ピペット、
チップ



超音波破碎装置



試薬（単品、キット品）

これらを提供するのが、私たちです

本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、創立約40年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ **研究用の試薬・機器**などを販売しています
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 2006年からは、試薬の自社**製造**も開始しました

②

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しました
- ✓ 商社ビジネスのグローバル化に取り組みます
- ✓ 新規ビジネス創出により収益源の拡大を図ります

③

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高では利益に貢献します
- ✓ 更なる安定配当へと、配当方針を変更しました

本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、創立約40年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ **研究用の試薬** **現在の事業の概要について**
- ✓ お客様は、大学、公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 2006年からは、試薬の自社**製造**も開始しました

②

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しました
- ✓ 商社ビジネスの **将来の成長戦略について**
- ✓ 新規ビジネス創出により収益源の拡大を図ります

③

- ✓ 会社設立以来、**黒字経営**です
- ✓ 輸入商品が売上 **業績・株主還元について** 社に貢献します
- ✓ 更なる安定配当へと、**配当方針**を変更しました



社名： コスモ・バイオ株式会社

本社所在地： 東京都江東区東陽二丁目2番20号

代表者： 代表取締役社長 柴山 法彦

設立： 1983年8月25日

事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売

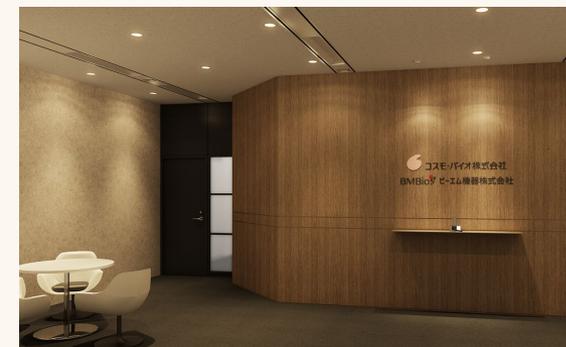
従業員数： 連結：169名 個別：135名

(2024年6月30日時点)

連結子会社： ビーエム機器株式会社

COSMO BIO USA, INC.

非連結子会社： 株式会社プロテインテック・ジャパン



コスモ・バイオの沿革

- 1978年 丸善石油（現 コスモ石油）でバイオ事業を開始
- 1983年 丸善石油の子会社として「丸善石油バイオケミカル」を設立
- 1986年 社名を「コスモ・バイオ」に変更
- 2000年 MBOによりコスモ石油から独立
- 2004年 「COSMO BIO USA」を設立
- 2005年 ジャスダック市場に上場（現：東証スタンダード市場）
- 2006年 「プライマリーセル」を子会社化
- 2010年 「ビーエム機器」を子会社化
- 2013年 物流センターを移転・拡張 「プライマリーセル」を吸収合併（現 札幌事業所）
- 2016年 「プロテインテック・ジャパン」を設立 **ペプチド受託製造** **鶏卵BR研究**
- 2017年 札幌事業所を開設

製造機能



何を誰に売っている商社ですか？

何を：

ライフサイエンス研究に使われる「試薬」や
「機器・器材・消耗品」、試験を請け負う
「受託サービス」など



試薬って、
なに？

誰に：

教育機関（大学等）、公的研究機関、企業
など

これらの研究機関で、基礎研究を行う研究室
の研究者が主な顧客

－ 試薬とは －

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質や、生物の体内から取り出した成分
 （タンパク質や細胞、核酸等）、それを反応させるための
 溶液など



なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）試薬**は、

- ・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
- ・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
 （体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる）

《試薬の分類イメージ》



試薬

化学用試薬

塩酸、硫酸、ヨウ素、・・・・
 緩衝液、触媒、・・・・

ライフサイエンス用 （生化学用）試薬

抗体、ホルモン、糖・脂質、
 核酸、細胞、培地・・・

－機器・器材・消耗品とは－

研究用機器とは？

PCR装置をはじめとするさまざまな化学物質・生体成分等を測定する機器

器材・消耗品とは？

液体を分注するためのピペットや、液体を混合するための道具、実験で使い捨てて使用する実験用手袋、マスク、プレート、チップ など

マイクロウェルプレート



チューブ



チューブ、保温ブロック



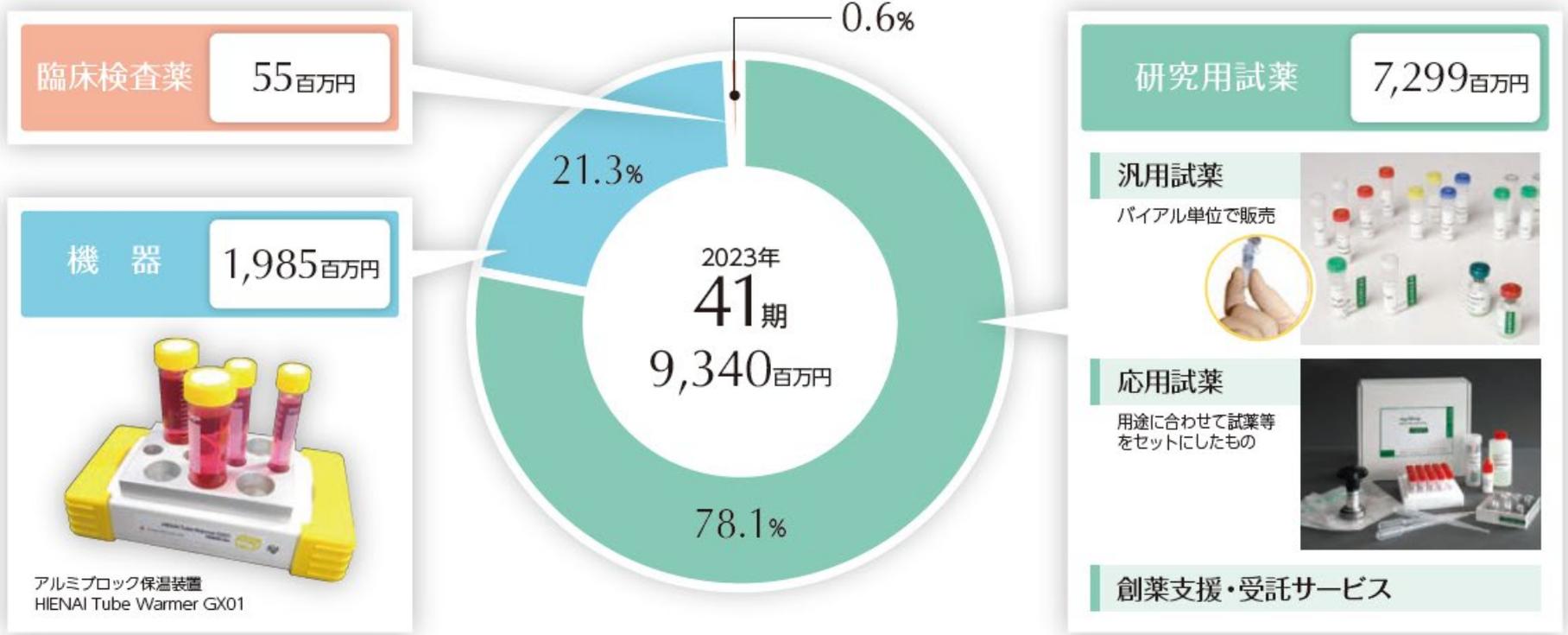
ピペット、チップ



超音波破碎装置

商品分類別の売上構成（連結ベース）

商品分類別連結売上高



**研究用試薬の売上が8割弱、
機器（器材・消耗品含む）の売上が2割強の比率**

生命科学研究とユーザー層

研究ステップ

各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでにはとても長い年月がかかっています。
 コスモ・バイオは、その研究の第一歩である、
「基礎研究」を行う研究者向けに、研究用試薬や機器を販売しています。

研究費用は
政府予算が中心



圧倒的な品揃え ～コスモ・バイオの“頼りがい”の基礎～



世界中から **約1,200万品** の
品揃え (約 **500** サプライヤー)



研究者⇒コスモ・バイオを見れば
何でもそろろう

仕入先⇒ここにあれば見てもらえる

◎ 豊富な品揃え、その理由は・・・

基礎研究では、

- ・ 膨大な基礎研究&一人ひとり異なる実験
- ・ 多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

どんな研究もサポート
できるよう、取り扱い
試薬はとてまたくさん！

たくさんの商品から、どうやって選ぶの？

◎ 仕入先の商品（シーズ）をデータベース化し、
研究者にとって有用な商品情報をタイムリーにお届け

[ニーズとシーズのマッチング]



技術はあるけれど
営業力が…
宣伝費もない…

何かいい試薬が
ないかな…

ここにあれば
見つけて
もらえる

商品を
1社1社から探す
時間があつたら
実験したい…





商品仕入れ・商品管理のノウハウ

◎ ライフサイエンス用試薬ならではの、
煩雑な輸入手続き、保管・管理手続き

煩雑って、
どうして？

特別な保管が
必要？

試薬とは：

化学物質や、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）など。 だから・・・



- 毒劇物など危険物質が入っている場合
→ 法令で取り扱いが厳しく定められている
- 動物由来成分が入っている場合
→ 動物検疫をうける対象となる



- 危険物質は法令に沿った管理が必要
- ナマモノだから、温度管理が厳重（4℃、-20℃、-70℃・・・）



商社事業を主軸に、メーカー機能を取り入れ

- ✓ 商社事業を軸に、2006年から**メーカー機能**を取り入れて自社製品・サービスの開発、新規事業に取り組んでいます
- ✓ 開発・製造拠点は北海道小樽市 **(札幌事業所)** です
- ✓ 札幌事業所で行っている事業は、大きく分けて次の3つです
 - ① 初代細胞ほか試薬製造・受託試験
 - ② カスタムペプチド合成&抗体作製
 - ③ ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造
(鶏卵バイオリクター事業)



札幌事業所の外観

本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、創立約40年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
自社製造も開始しました

将来の成長戦略について

②

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しました
- ✓ 商社ビジネスのグローバル化に取り組みます
- ✓ 新規ビジネス創出により収益源の拡大を図ります

③

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高では利益に貢献します
- ✓ 更なる安定配当へと、配当方針を変更しました

長期業績の振り返り

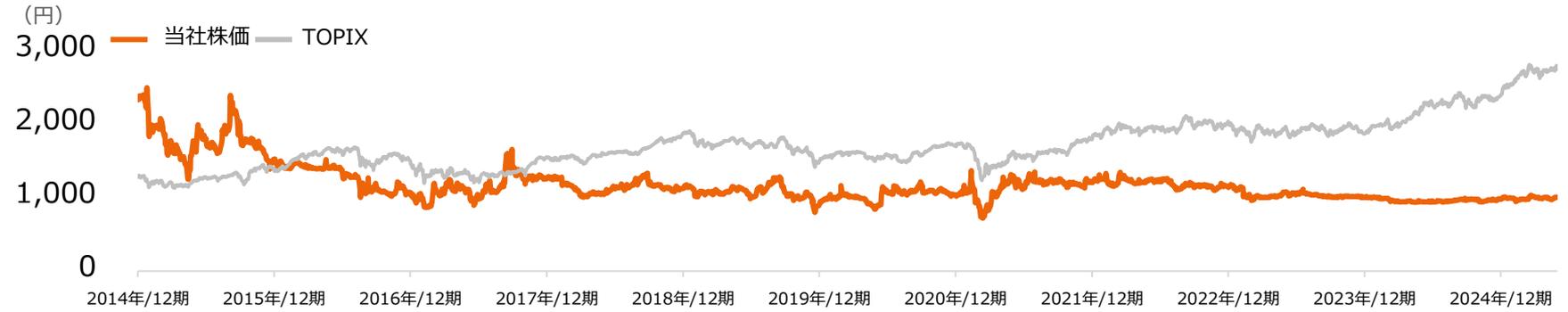
■当社利益は為替変動の影響を受けやすいが、実際には長期で着実な事業成長を実現と認識

(百万円)	2014/ 12期	2015/ 12期	2016/ 12期	2017/ 12期	2018/ 12期	2019/ 12期	2020/ 12期	2021/ 12期	2022/ 12期	2023/ 12期
売上高	7,235	7,357	7,427	7,068	7,261	7,590	8,092	9,231	9,553	9,340
営業利益	162	200	514	193	328	405	752	1,048	816	519
親会社株主に帰属 する当期純利益	201	230	254	237	260	237	674	737	517	442
ROE(%)	3.3	3.8	4.2	3.8	4.0	3.5	9.5	9.7	6.5	5.4
参考: 通期為替レート (ドル円)	106	121	111	112	110	109	107	108	128	140
参考: 親会社USドル建 仕入構成比(%)	62.0	64.5	64.9	60.1	57.3	58.3	60.0	61.5	60.6	64.1

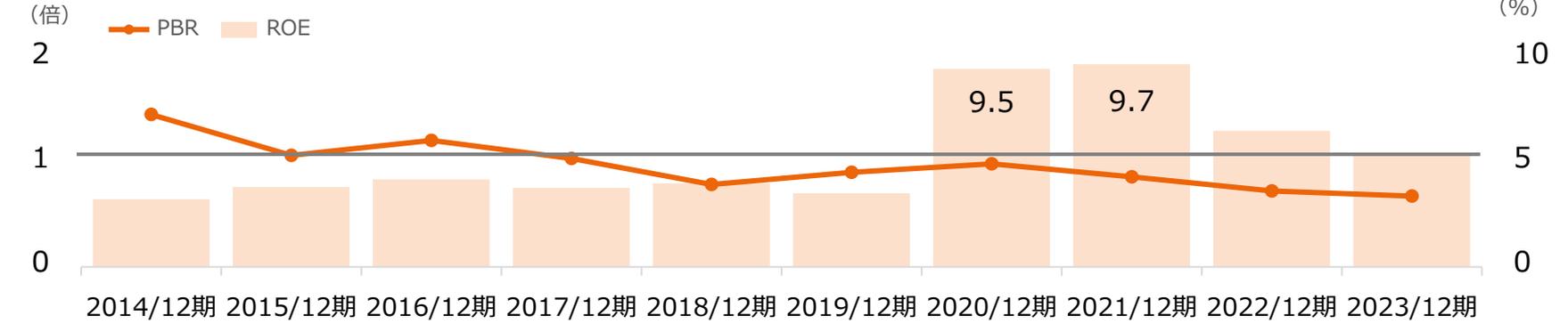
資本市場評価の当社認識

■ROE8%超えとなる期があるも、PBRは1倍割れの状態で推移
 ■ステークホルダー・エンゲージメント強化による情報の非対称性の解消が重要と認識

過去10年株価推移



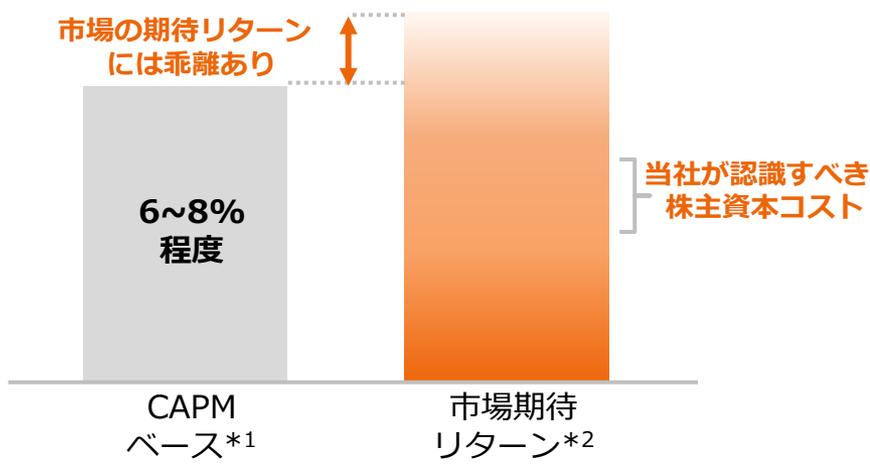
過去10年PBR/ROE推移



資本コストの現状と今後の方向性

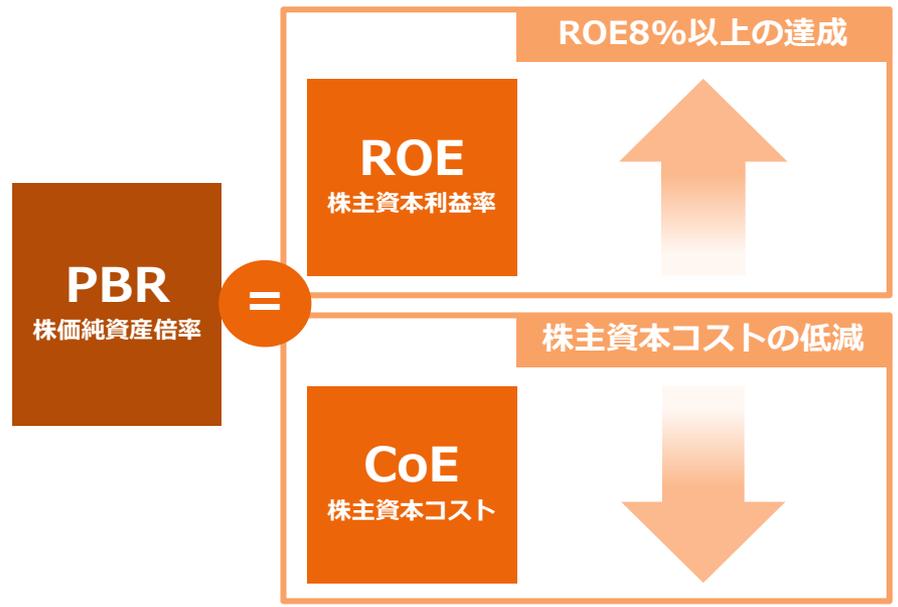
■PBR1倍以上の達成に向け、CoE低減と円安環境下でのROE8%早期達成の両軸で改革を推進

■ 株主資本コスト



*1: $\text{リスクフリーレート} + \beta \times \text{市場リスクプレミアム} + \text{サイズプレミアム}$
 *2: 市場評価に基づく資本コスト $\approx \text{PERの逆数}$ 及び機関投資家調査結果を総合的に勘案

■ PBR改善に向けて



企業価値・株式価値向上に向けて

■STEP 0/1を第一の矢とし、第二の矢であるSTEP 2の実施段階にて PBR1倍の達成を目指す



ステークホルダー・エンゲージメントの強化： IR活動の強化



■情報の非対称性解消に向け、IR活動は手段・コンテンツとともに
拡充し、投資家との対話促進による株主資本コストの低減を目指す

IR手段の拡充



開示内容の充実

継続的な 取り組み

- ✓ 決算説明会の実施
- ✓ 決算説明会書き起こし配信/WEB掲載
- ✓ 個人投資家向け説明会の実施
- ✓ IR展示会の出展の実施
- ✓ 株主様アンケートの実施



新規 取り組み

- ✓ 決算説明会動画の配信
- ✓ 適時開示・PR開示の掲載サイト拡充

継続的な 取り組み

- ✓ ESG対応および開示
- ✓ ガバナンス向上および開示
- ✓ 積極的なPR開示



新規 取り組み

- ✓ 中期経営計画の開示（数値目標を含む）
- ✓ グローバルWEBサイトの投資家向けコンテンツの充実

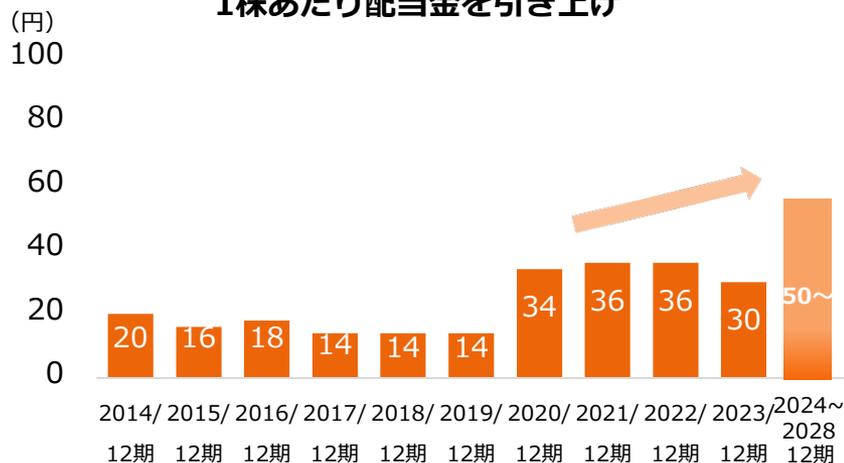
株主還元の強化/バランスシートの最適化： DOEの導入及び自己株式取得



- 更なる安定配当のため、今年度よりDoE（株主資本配当率）を配当指標として導入
- 業績・経営環境に応じた機動的な資本政策の実行の一環として、自己株式取得を実施

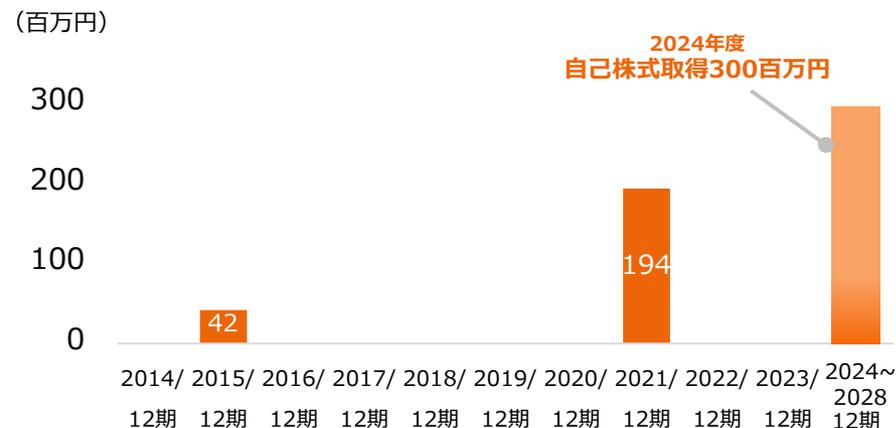
配当政策

DoE3.5%と配当性向60%のいずれか高い方を基準とし、
1株あたり配当金を引き上げ



自己株式取得

2024年度総額3億円の自己株式取得を実施



IT活用による商社ビジネスのグローバル化： 高収益体質への転換



IT活用による商社ビジネスのグローバル化及び安定的な高収益体質への転換

①グループ間のデータベース共通化

- 現在活用している商品データベースをグローバルビジネスの展開に向けて改修
- 海外販売ネットワークを拡大し、海外売上の増加及びオペレーションコストの削減を企図

②生成AI等を活用した デジタルマーケティング実装

- 生成AI等を活用し、商品ポートフォリオの適正化やグローバルなサイトを意識した効率的なWEB制作等、マーケティング機能の強化を企図

強みの更なる強化

当社グループの強みと顧客への付加価値





IT活用による商社ビジネスのグローバル化： Scientist³の早期拡大

■当社を介さずとも、ユーザーとサプライヤーのマッチングを可能とする合理的な仕組み



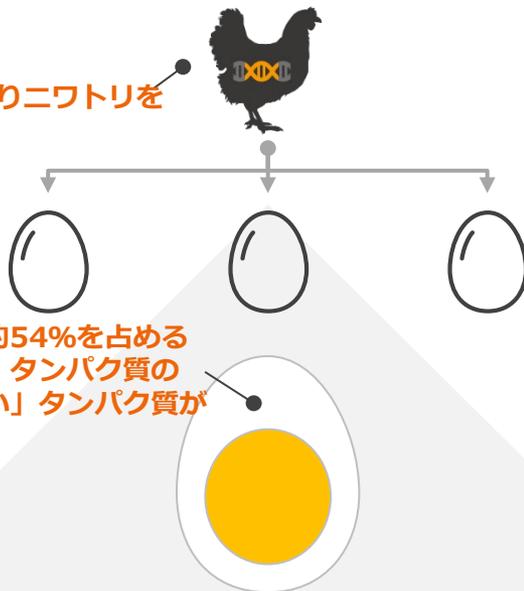
- ユニークな技術を有する多数の国内外サプライヤーとのコネクション
- 長年のユーザー（製薬企業や公的研究所等）との取引で培ってきた信頼関係

新規ビジネス創出による収益源の拡大： 鶏卵バイオリアクター事業の概要と強み

■ 鶏卵バイオリアクター事業概要

ゲノム編集済みニワトリ

ゲノム編集によりニワトリを
遺伝子改変



卵白タンパク質の約54%を占める
「オボアルブミン」タンパク質の
代わりに、「欲しい」タンパク質が
できる

「欲しい」タンパク質を、卵の中に量産

■ 技術的優位性

1

独自の遺伝子改変技術

- 世界初の“ゲノム編集を用いた鶏卵バイオリアクター技術”（特許取得済）。
- 産業技術総合研究所から特許実施許諾および技術サポートを受けて**当社が事業化**。

2

「欲しい」タンパク質の大量生産が可能

- ヒトのタンパク質と同等の構造や機能をもつタンパク質が得られる。
- ニワトリの高い産卵能力により、従来手法以上の大量生産が可能。

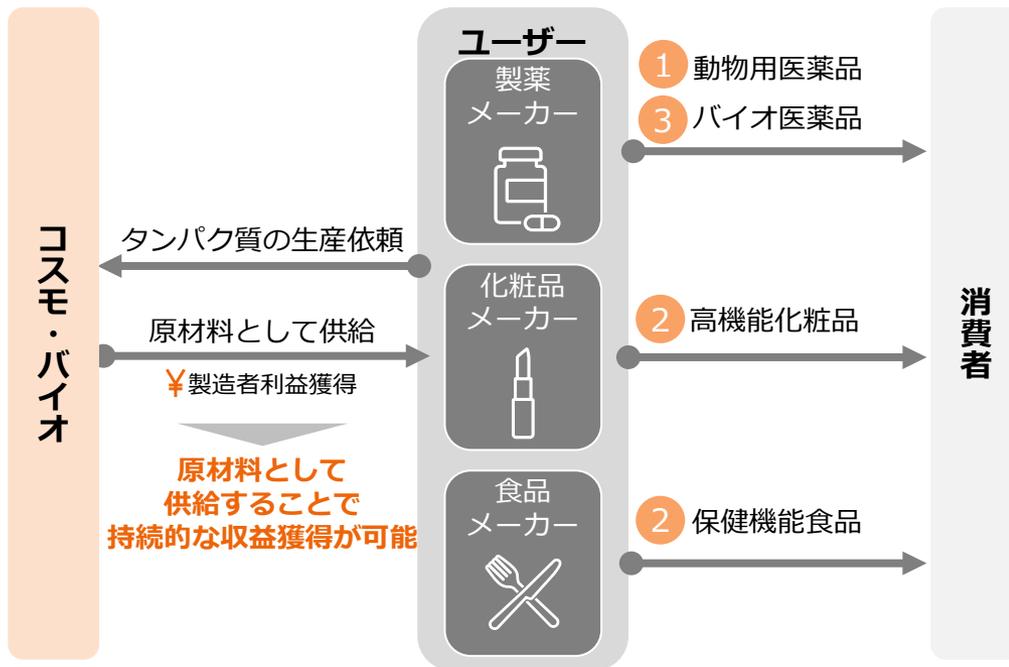
3

低コスト生産が可能

- 卵自体が無菌状態の「プラント」（工場）となるため、大型設備を要せず、低コストでの生産が可能。

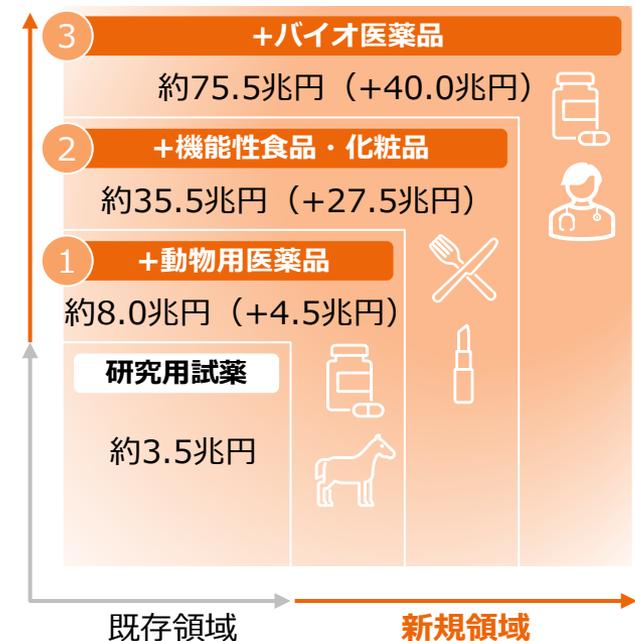
新規ビジネス創出による収益源の拡大： 同事業のビジネスモデルと見据える市場

■ 同事業のビジネスモデル



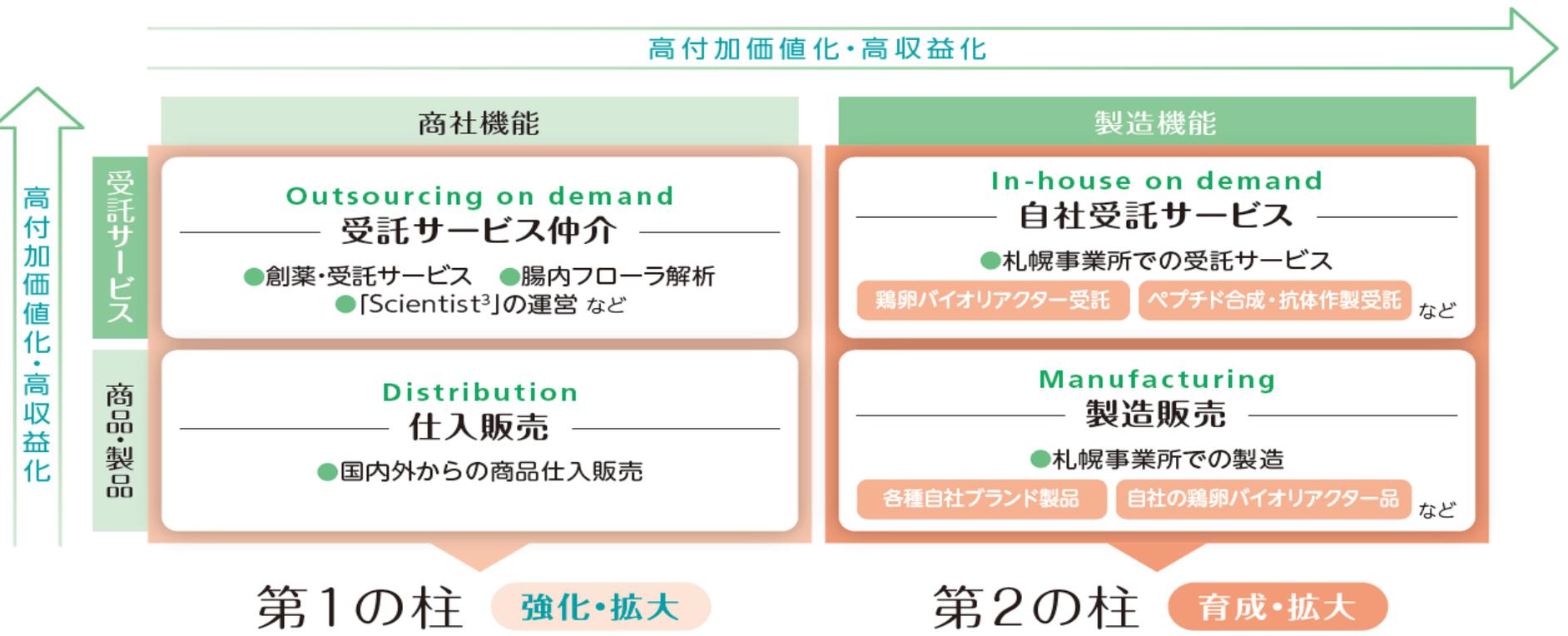
■ グローバル累計市場規模*

※ () は累計ではなく、各市場規模の数値を記載



*(出所)
 「世界の動物用医薬品市場に関する調査レポート2024-2036」 「機能性食品の世界市場2023-2030」 「機能性化粧品市場：機能別、用途別-2024-2030年の世界予測」
 「世界のバイオ医薬品市場に関する調査レポート2024-2036」より引用

コスモ・バイオの事業概況マトリックス



本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、創立約40年の
バイオ(ライフサイエンス)の専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました

②

- ✓ 「資本コストや株価を意識した経営方針」を公表しました
 - ✓ 商社ビジネスのグローバル化に取り組みます
- 業績・株主還元について 収益源の拡大を図ります

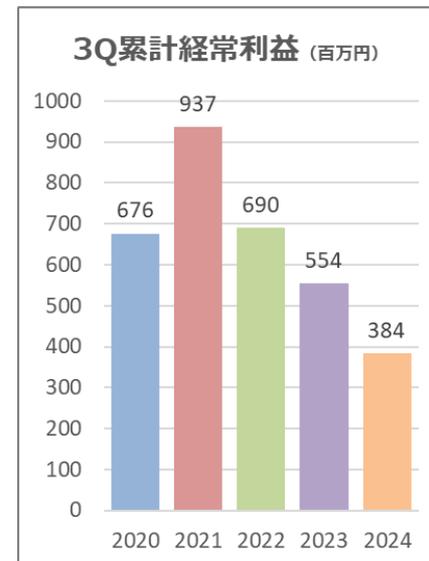
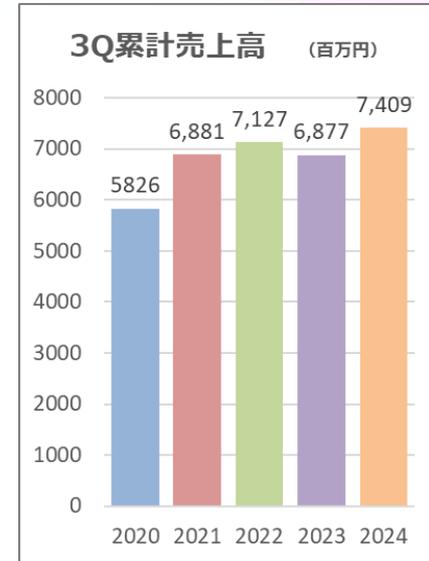
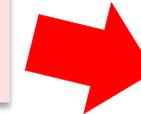
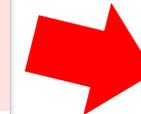
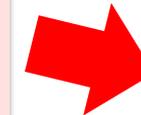
③

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高では利益に貢献します
- ✓ 更なる安定配当へと、配当方針を変更しました



2024年12月期3Q連結業績ハイライト

連 結	売上高	7,409百万円	(前年同期比 7.7%増)
	営業利益	369百万円	(前年同期比 17.5%減)
	経常利益	384百万円	(前年同期比 30.6%減)
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	291百万円	(前年同期比 20.4%減)



主な要因

- ・試薬販売は好調、受託サービス、消耗品は復調
- ・為替レートは、前3Q実績が138円のところ、当3Q実績は150円となり、利益減に影響
- ・粗利率は35.8%から33.4%へ 【平均為替レート（年間）の推移（円／ドル）】

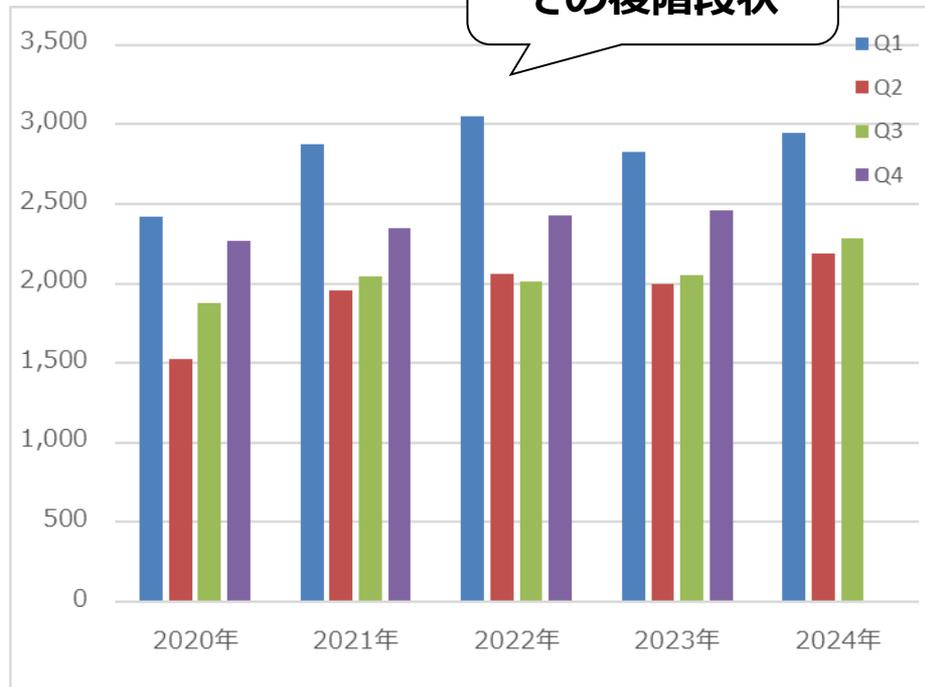
2021年	2022年	2023年	2024年3Q累計
108円	128円	140円	150円

四半期別動向（売上高、経常利益）

売上高

(百万円)

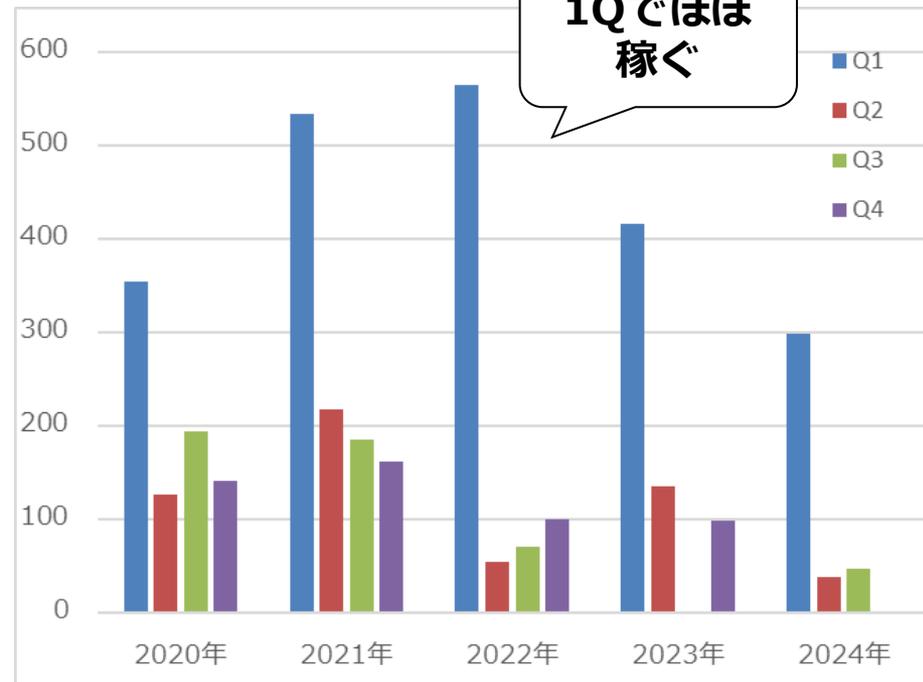
1Qが最も多く、
その後階段状



経常利益

(百万円)

1Qでほぼ
稼ぐ



【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

※売上高は、当期は新年度開始時の研究費予算執行が活発であり、従前と比べQ3の売上が伸長した。



2024年12月期の通期業績見通し

(単位：百万円)

	23/12月期 通期実績	24/12月期 通期予想	対前年 同期比	(参考) 24/12月期 3Q実績
売上高	9,340	9,800	4.9%	7,409
営業利益	519	390	△25.0%	369
経常利益	653	450	△31.1%	384
親会社株主に帰属 する 当期純利益	442	310	△30.0%	291
平均為替レート	23/12月期 実績	24/12月期 3Q実績	24/12月期 下期予想	
円/USドル	140円	150円	150円	

前のセクション ② でご説明した、

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」 方針（2024年8月5日開示）

のSTEP 0 からSTEP 3 のうち、**STEP 1** の施策として、

①自己株式取得実施の開始、および②配当方針の見直しを行いました。

①自己株式取得（2024年8月5日取締役会決議）

資本効率の向上を通じた株主の皆様への利益還元を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を行います。

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	400,000 株（上限）
(3) 株式の取得価額の総額	300,000,000 円（上限）
(4) 取得する期間	2024年8月6日～2025年7月31日

株主還元について②

②配当方針の見直し (2024年8月5日取締役会決議)

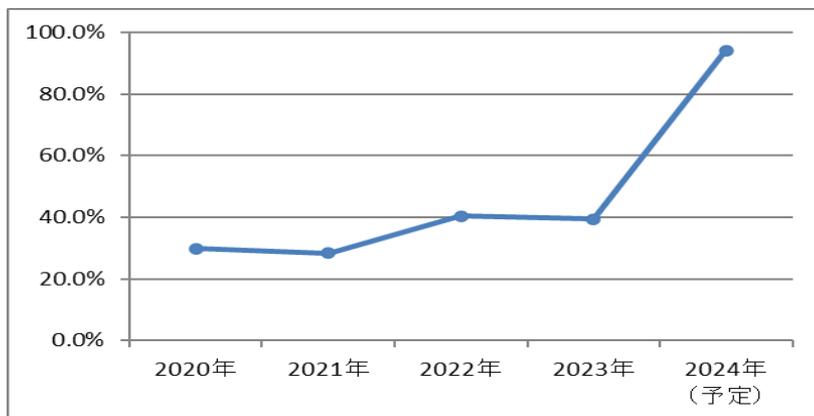
配当性向30%~40%という従来の配当方針を変更し、

株主資本配当率 (DOE) 3.5%と配当性向60%のいずれか高いほうを基準とした配当を実施することとしました。

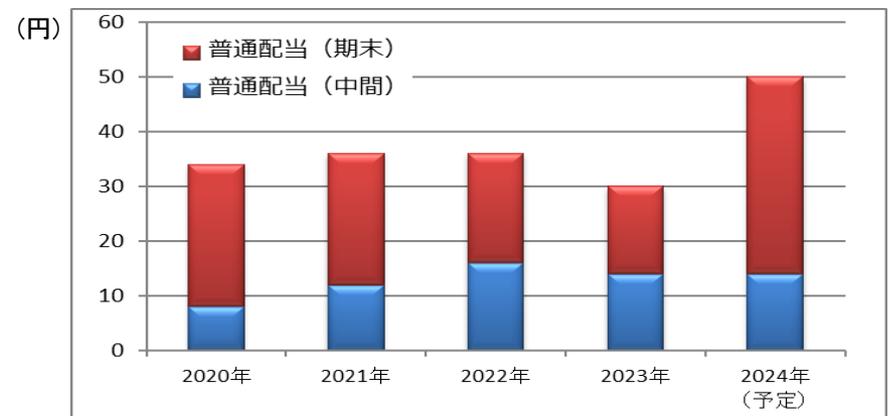
■ 2024年12月期 1株当たり配当額

	中間	期末	合計
当初予想 (2024年2月14日公表)	14円	16円	30円
修正予想 (2024年8月5日公表)	—	36円	50円

■ 連結配当性向の推移



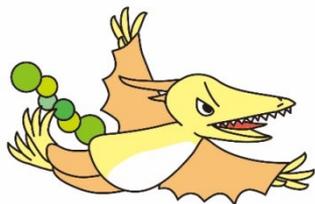
■ 1株当たり配当額の推移

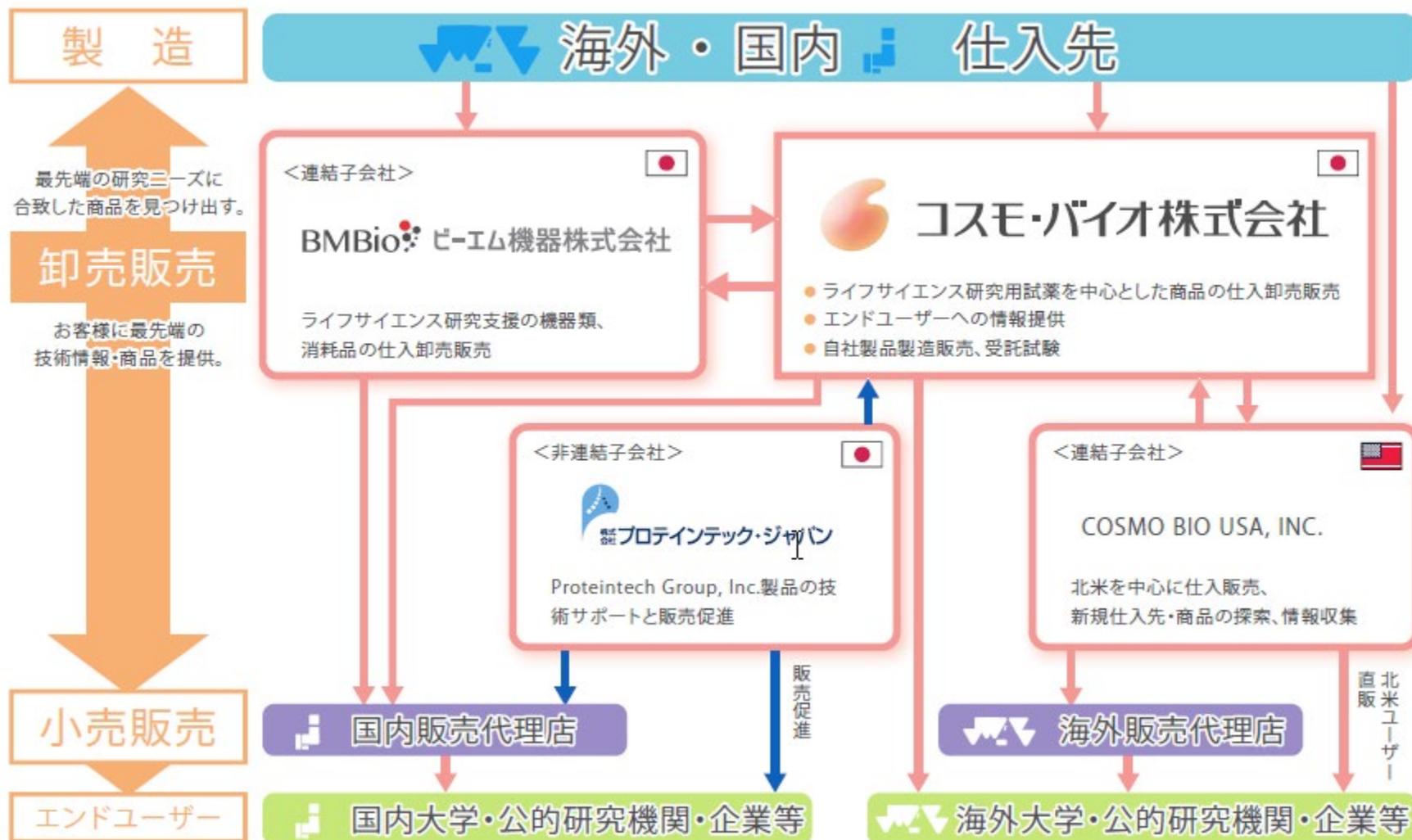




人と科学のステキな未来へ コスモ・バイオ株式会社

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp
《当社IRサイト》
<https://www.cosmobio.com/jp/ir/>





SDGsへの取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加されたチームの一例】



地域の
小中学生のキャリア
教育の一環としての
「お仕事ノート」
「お仕事ブック」への協賛

『お仕事ノート/お仕事ブック』



『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する
“Science Signaling”の日本語サイトを
当社ウェブ上で運営しています

